

「元気が一番」塾

2005.4.16 優しい風 (Loving-wind) 仲島

(<http://www2.bbweb-arena.com/naka602>)

1. さあ新学期、希望に胸ふくらませて

先生からは1対40でも、子どもからは1対1。みんな自分のことをみてもらいたい。
どんな友だちかな？ どんな先生かな？ ドキドキ、ワクワク・・・
まずは、子どもの心をつかむことからスタート。そのために・・・

2. 学級目標の生かし方

壁目標（壁に貼ってあるだけ）ではダメ！ 生活とつなぐこと。つまり生活場面、学習
場面で必ず学級目標に立ち返ることで、子どもは変わっていく。

3. 遊びの中から子どもの心をつかむ

遊ばない先生はだめ、遊びは子ども理解の基本中の基本、若い時にはそれが出来る
遊んでくれる先生のこと、子どもは大好き！
なぜ遊びが大事か・・・そこには本音がある、意欲がある、工夫がある、けんかがある、
ルールがある、団結がある、仲間がいる、そして成長がある。

4. 遊びに入れない子は誰？

先生も夢中で遊ぶと子どもも夢中になる。でも時々周りを見て・・・入っていない子は
誰かを見ておくことが大切。次はその子の近くで遊ぶ。

5. 学級通信から子どもの心をつかむ

学級通信に自分のことがのっているとうれしい。
学級通信を続けるコツは・・・・B5（A4）1枚で十分、カットもいらない、思っ
た時にすぐを書く、すると不思議と子どもがよく見えるようになる。

6. 研究授業は、何が何でもやること。必ず立候補「私にやらせてください！」

授業づくりは教師の原点。授業がうまい先生になること。
はじめは下手で当たり前、でも研究授業を重ねることによってうまくなる。
研究授業を重ねることによって子どもがみえてくる。
若いうちにいっぱい批評してもらうこと、それが自分のため、子どものためになる。

7. 苦手は一つの財産。それを生かした指導を

名選手名監督にあらず。〇〇の苦手な自分だからこそ、苦手な子の気持ちがわかるはず。
「苦手な音楽の指導に取り組んで」（S55 仲島正教 阪神地区新任研 発表）

8. すてきなともだち♪

♪ 苦しい時も 仲間がいれば つらくはない♪